

令和6年度 中国・四国ブロック災害支援セミナー —令和6年能登半島地震への対応から今後の備えを考える—

1 趣旨

令和6年元旦に発生した能登半島地震により、多くの社会福祉施設に甚大な被害が生じただけでなく、地域社会にも深刻な被害が及びました。その影響は今も継続している一方で、復興中でも“創造的復興”に向けた動きが活発化してきています。

近年、全国各地で頻発する大規模災害や、今後、高い確率で起こることが想定されている南海トラフ巨大地震に備え、発災時に社会福祉法人が何をすべきか、また、平時に準備できることは何かを考えることは重要です。

この度のセミナーでは、被災された社会福祉法人がどのようにして困難を乗り越えたのか、発災直後の取り組みに加え、並行して進める必要があるその後を見据えた支援活動について、社会福祉法人佛子園の実践を通じ、被災しつつも支援活動をも同時に行うための具体的な方法や視点について学ぶことを目的に開催します。

2 主催

全国社会福祉法人経営者協議会中国・四国ブロック協議会
中国四国ブロック社会福祉法人経営青年会

3 共催

山口県社会福祉法人経営者協議会

4 日時

令和7年2月27日（木）午後2時から午後4時まで

5 開催形態

zoom を活用したオンライン研修

6 参加対象

中国・四国ブロック各県経営協会員法人役職員、防災担当者等
中国・四国ブロック各県青年会会員

7 内容

時間	内容
13:40	Zoom 入室開始
14:00	開会
14:10～14:30	報告「令和6年能登半島地震被災地の福祉支援について」 ～中央センターと全国経営協の連携による対応状況～ 全国経営協
14:30～16:00	講演「能登半島地震での被害状況及び創造的復興に向けた取組について」 社会福祉法人 佛子園 理事長 雄谷 良成 氏
16:00	閉会

《講師プロフィール》

【講師プロフィール】

(福) 佛子園 理事長、(公社) 青年海外協力協会会長 石川県白山市において、子どもから高齢者、障害や疾病の有無・国籍等にかかわらず、全ての人と一緒に共生するまちとしての社会福祉施設「佛子園」や、金沢市において、地域コミュニティ再生を目的に、障害者を持った人と健常者、若者と高齢者など様々な人が一緒に分け隔てなく暮らせる社会福祉施設 Share 金沢などを運営 能登半島地震では、自施設が被災する中、いち早く地域の福祉施設の支援のみならず地域のための支援を開始、さらに中長期的な視点に立ち、青年海外協力協会では仮設住宅への支援を行っている。

8 参加費

無料

9 参加申込

下記申込フォームまたはQRコードより、令和7年2月18日(火)までにお申し込みください。

<https://forms.gle/smqVM1Q7LENb6ogz9>

